



# なきごえ



1986

5

大阪市  
天王寺動物園協会



大塚 幸太郎



このたびの人事異動で公園局長を拝命いたしました大塚でございます。

多くの方々から激励のお言葉をいただき、また今後、取り組まなければならない諸問題をお聞きするにあたり、その責任の重大さを痛感している次第でございます。

大阪市天王寺動物園は大正4年1月1日に日本で第3番目の動物園として開園して以来、本年で71年目を迎えたわけですが、その間、幾多の困難に遭遇しながらも、各種施設及び展示動物の充実を図り、日本有数の都市動物園として市民のみならずから親しまれてまいりました。

動物園には4つの役割があるといわれています。それはレクリエーションの場、教育の場、研究の場、自然保護の場、の4つですが、中でも情操教育の場としての動物園の役割は今後ますます重要に

なってくるのではないのでしょうか。

最近、大きな社会問題となっております小、中学生のいじめ、暴力、非行、自殺等は、幼児期に自然との接触が少ないために生じた情緒不安定が大きな原因ともいわれています。幼児期に知る動植物の世界は、人間以外の生物の存在を知るとともに、命を持つものへの理解、愛情へとつながるものであります。

現在、天王寺公園、動物園を今以上に市民の方々に親んでいただくため、全体を1. 動物園ゾーン、2. 散策とくつろぎのゾーン、3. 娯楽ゾーン、の3つのゾーンに分け、各ゾーンごとに検討を加え、全体としてまとまりのある動植物公園になるよう総合的に検討しております。天王寺動物園は全国的に見ましても展示動物の種類が多く、内容的にも立派な動物園ですが、より一層の充実を図るために展示方法に工夫を凝らした動物舎を建設し、各ゾーンを連結する園路を整備し、さらに花と緑をふんだんにとり入れてゆとりのある公園にして幅広い人々に利用されるようにと考えております。

また、昭和62年秋、天王寺動物園で開催されます天王寺博覧会(仮称)、コアラの誘致、さらには昭和65年に鶴見緑地で開催される国際花と緑の博覧会等山積する諸問題に対し、積極的に取り組んで行きたいと思えます。

おわりに、市民のみなさま方の日頃のご愛顧に心から感謝申しあげるとともに、いつまでもみなさまに愛され親まれる動物園でありますよう努力する所存でございますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(大阪市公園局長)

なきごえ5月号もくじ

ごあいさつ ..... 2
“キリンが入園しました” ..... 3
動物園グラフ・動物園日記 ..... 4・5
大阪湾岸の渡り鳥 ..... 6・7
天王寺動物園の野鳥 ..... 8・9
動物なんでも相談室 ⑬ ..... 10
動物園ニュース ..... 11

表紙の写真説明

ドリル(Mandrillus leucophaeus)

アフリカ西部の森林に住むドリルは大型のサルですが、生息地の開発のせい、その生息数は少なくなってきています。

真黒な顔とアゴのピンク色のコントラストが印象的です。レクチャールーム南に新設されたビビハウスで展示されています。

(撮影：長瀬 健二郎)



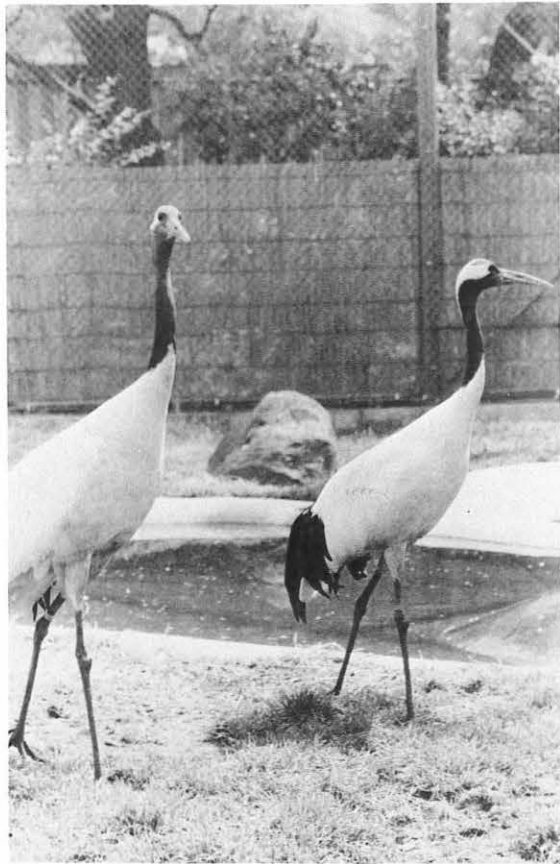
“キリンが入園しました”
3月25日、多摩動物公園生れの1才半のメス(写真手前)が入園し、これでオス1頭、メス2頭の計3頭になりました。数年後の2世誕生が期待されます。(撮影：大野 尊信)

# 動物園グラフ

## “日本の鳥”

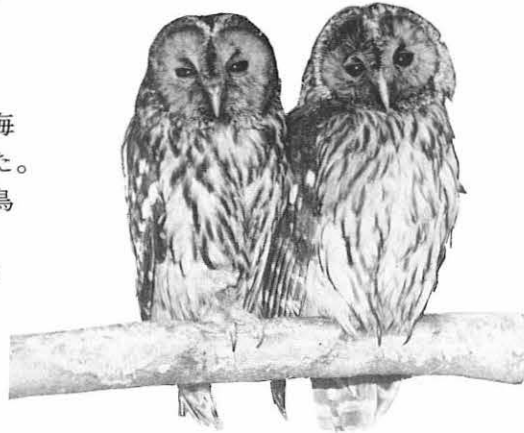
5月10日からはバードウィーク!!野山や海へ鳥を見に行くのにはよい季節になりました。でもその前に動物園で飼われている日本の鳥を見てみませんか?

(撮影: 神原 安昭)



タンチョウ

日本を代表するツルで日本の野鳥では最大級の一種、北海道東部の湿原に約200羽が生息している。



フクロウ

低山帯の森に住んでいるが、神社や寺などの人里の林で見かけることもある。

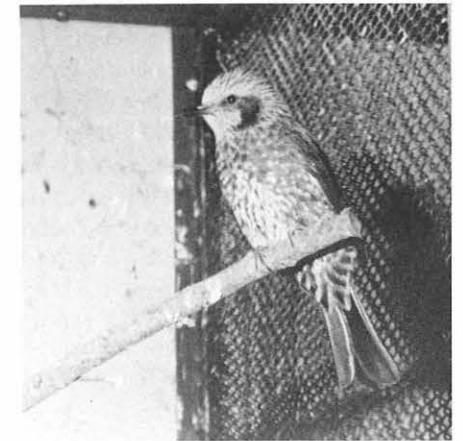
コサギ

水田や川、湿地、干潟などでよく見かけるシラサギ。繁殖期の後頭部から出る2本の冠毛と背の飾り羽はたいへん美しい。



アカヤマドリ

日本特産のヤマドリの北九州に分布する亜種。オスの長い尾がたいへん美しい。



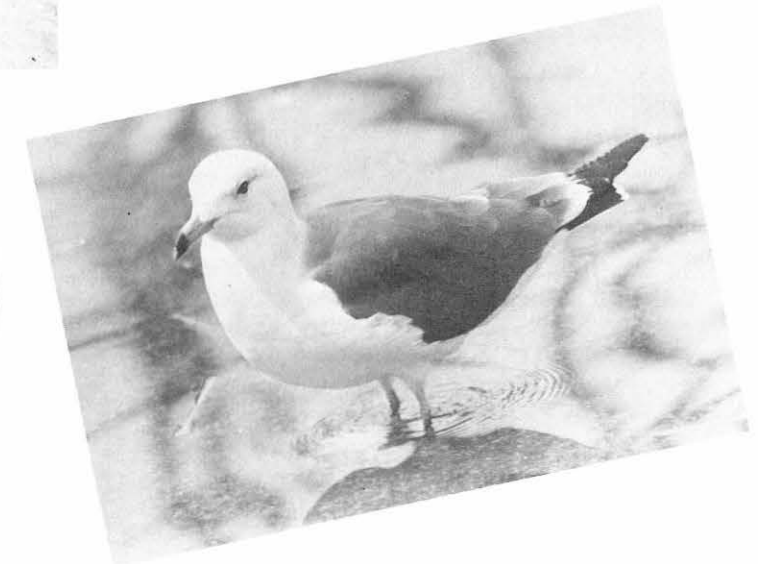
ヒヨドリ

公園や庭でよく見かけるこの鳥も、世界的に見れば日本、朝鮮半島などにしか見られない珍しい鳥。“ピーヨピーヨ”とたいへん騒がしく鳴く。



サシバ

夏鳥として本州、九州に渡って来るタカ仲間、低山帯の林で繁殖する。集団となって秋に東南アジアへ渡る。



ウミネコ

日本海に住むカモメ仲間。“ミャーオ、クラーオ”とネコによく似た声で鳴く。冬は大阪でもよく見られる。

### 3・4月の動物園日記

- 3 / 6. アジアゾウのメス“博子”が左牙を折ったので治療をはじめました。
- 3 / 7. コンドルが卵をわってしまいました。
- 3 / 8. ハイロコクジャクが産卵しました。
- 3 / 9. ボランティアによるスポットガイドがありました。
- 3 / 11. 夜行性動物舎の全展示室のライトの明るさを少し上げ、動物を見やすくしました。
- 3 / 13. トカラヤギが1頭生まれました。
- 3 / 14. キーウィ舎に造花を植え込みました。新しく来園したチャバラサケイ3羽を検疫

が終了したので、展示しました。

- 3 / 16. 第11回動物のお話とスライドの会「可愛い小獣類のお話」をレクチャールームにて開催しました。
- 3 / 17. 当園の職員研修が、講師として日本モンキーセンター学芸員および日本動物園教育研究会会長の広瀬鎮氏をまねいて実施されました。
- 3 / 18. ミカドキジのオスのディスプレイがよく見られます。
- 3 / 19. アシカプール補修工事が完了し、隣のクロエリハクチョウ池から元のプールへ戻さなければならぬため、その中間の金網柵を取

- り除いたところ、全頭無事移動しました。
- 3 / 20. ヒオドシジュケイのオスが発情中です。今月5日に行なわれた脱出猛獣捕獲訓練の反省会が行なわれました。
- 3 / 21. ラマのメス“マリー”が5産目の子を生まれました。
- 3 / 22. リュウキュウイノシシの内部寄生虫の駆虫を行ないました。
- 3 / 23. クロサイのメス“サッチャン”の皮フにできた多くの化膿巣は治療により、かなり少なくなり経過は順調です。
- 3 / 24. 定例飼育研究会を行ないました。
- 3 / 25. 新しくアミメキリンのメス(1歳半)が1

- 頭、入園しました。
- 3 / 26. バーバリシープが2腹3頭生まれました。
- 3 / 27. ペンギン全羽にビタミンBの補給をしました。
- 3 / 28. ヒョウ一番が来園したので、さっそくワクチンの接種と検疫に入りました。
- 3 / 29. 白子のブラックラットスネーク2頭が来園しました。
- 3 / 30. ニホンジカのオスの角が落ちました。
- 4 / 6. キジ類とシマウマの定期駆虫を行ないました。



# 大阪湾岸の渡り鳥

納家 仁

## § はじめに

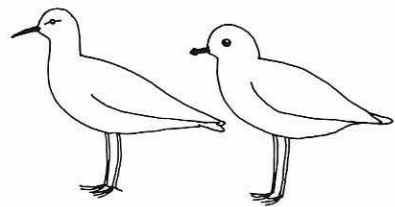
野鳥を長年見ていると季節のうつろいにだんだんと敏感になります。今年はいつツバメが渡ってくるだろうか、ウグイスの初鳴きはまだだろうか、と、鳥たちの姿や鳴き声で季節を先取りする、これはバードウォッチングの楽しみのひとつです。大阪湾岸に渡ってくるシギやチドリも同じように季節を感じさせてくれる鳥たちです。ここではまず、シギ、チドリのプロフィールを簡単に紹介し、それから彼らを中心とした海辺の渡り鳥と自然のかかわりについて話をすすめていくことにします。

## § シギ、チドリってどんな鳥？

シギ、チドリとひと言でいっても、府下では7科61種もの種類が記録されています。このうち府下で普通に見ることのできるのは20種類ぐらいです。彼らの多くは、春と秋に日本に立寄る旅鳥です。シベリアやアラスカなど北半球北部で繁殖し、熱帯地方や南半球で冬を越します。その長い渡りの途中の大切な給油所が日本の海辺の干潟や湿地なのです。彼らはここでゴカイやカニや貝などを食べて渡りのエネルギーを補給していきます。

干潟に群れるシギやチドリを見ているとどれも同じような色をしているし、最初はなかなか何という

図1 シギとチドリ



(ウズラシギ)

(メダイチドリ)

鳥なのかかわかりにくいと思います。まず、シギとチドリの区別から覚えてみましょう。

図1に大きさが同じくらいのウズラシギとメダイチドリをならべてみました。一般にシギの方がくちばしが長くて体つきもスマートです。また大きさはスズメぐらいの大きさのものからカラスぐらいの大



ダイシャクシギ

きさのものまでいろいろです。くちばしの長さや形、足の長さもバラエティーに富んでいます。たとえばダイシャクシギ(写真)やチュウシャクシギなどはくちばしが大きく下に曲っています。反対に上にそりかえっているものとしてはオオソリハシギ(写真)やソリハシギなどがいます。どうしてそんな



オオソリハシギ

くちばしなのかと思って見ているとチュウシャクシギはその曲ったくちばしをカニの穴の奥までうまくつつこんでカニをつかまえますし、オオソリハシギは長いくちばしを泥の中に根元までさしこんでゴカイや貝などを探しています。じっくり観察していると、それぞれの体の大きさやくちばしの形などに応じたエサをとっている様子がわかります。

一方、チドリは種類によって体の大きさに違いがありますが、どれも先の少しふくらんだ短めのくちばしとシギより大きな目をし、そして頭の形が丸くなっています。海辺でよく見られるチドリは、大きいものからダイゼン、ムナグロ、メダイチドリ、シロチドリ、コチドリなど数種に限られますから慣れればすぐ見分けがつくようになるでしょう。



ダイゼンの群れ

シギとチドリはそのエサのとり方も違います。くちばしできぐりを入れながらエサをとるのがシギで目でエサを見つけてつまみとるのがチドリのエサのとり方です(図2)。「千鳥足」という言葉がありますが、二、三步、歩いては立止まり、また方向を変えて歩きだし、おもむろに頭を下げて泥の中のゴカイなどをひっぱり出すエサのとり方は、やっぱり酔っぱらいの足どりに似ているようです。でもチドリは、ふらふら(?)歩きながらも大きな目でずっと獲物を探しているのです。

シギとチドリの仲間は山の小鳥のように美しい声

図2 シギとチドリのエサのとり方



シギはつづけてエサをとります



チドリは立止まっては1回エサとる

でさえずるわけでもなく、色も地味で確かに種類ごとの見分け方も難しい鳥ですが、それだけにじっくり観察してみれば、いろんな発見があります。また、小さな体で長い渡りをするとところにロマンを感じたりもします。

## § シギ、チドリを見に行こう

大阪湾でシギ、チドリを観察できる干潟は、西宮市の甲子園浜、泉南市の男里川河口、檜井川河口、泉大津市の大津川河口などしか残っていません。ここでは、数は多くないのですが間近に彼らを観察することができます。潮の干満の時間を調べて出かけましょう。満潮で干潟や中州が水面の下になってしまえば、鳥は見られません。干潮でよく潮が引いていればたくさんの鳥が観察できるでしょう。潮が引いて干潟が姿を現わすとともに次々とシギやチドリの小さな群が集まってきます。干潟を見おろす堤防の上に腰をかけて、潮風をうけながらのバードウォッチングは春と秋の大きな楽しみです。

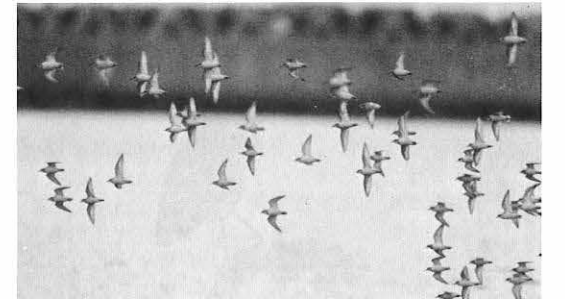
## § 大阪湾の自然は今

シギ、チドリをはじめ海辺の鳥たちの生息環境は昔と比べ大きく変化しました。かつては大阪湾の奥には広大な干潟や湿地帯が広がっていました。湾の奥の干潟は明治30年以降の埋立工事によって失われ、大和川河口から南の北大浜一帯の前浜干潟も昭和10年代の埋立てにより失われてしまいました。さらに、浜寺公園から助松海岸まで続いていた白砂青松の美しい浜も昭和30年代後半からの埋立てで姿を消しました。昭和のはじめ頃の浜寺公園は「海の銀座」とまでよばれ近畿最大の海水浴場として多くの人に親しまれていました。昭和10年の夏、この浜に海ガメが上陸した記録も残っています。遠浅の浜に出ればカレイを足でふんでつかまえることができたほど水もきれいで魚や貝もたくさんすんでいたということです。それほど当時の大阪湾は自然が豊かであったのです。

しかし、現在この海岸に自然の渚は全く残っていません。かつての海岸線の上に臨海道路が走り、海にむかって埋立地が広がり、そこには化学工場の煙突やタンクが林立し、海岸はすべてコンクリートで固められてしまいました。

こんな中で、水鳥はわずかに残された河口部の干潟に集まっていますが、皮肉なことに、湾岸の埋立

途上地がかえって彼らの重要な渡来地となっっています。水鳥の多い埋立地としては堺2区埋立地、堺7-3区(堺産業廃棄物処理場)、そして泉大津助松ふ頭埋立地などがあります。この中で現在、最大の渡来地はおそらく堺2区埋立地でしょう。この埋立地にできた人工池で昨年日本で初めてツクシガモが繁殖し、大阪で初めてオオバンが繁殖しました。また冬には3,000羽を超すカモ類が記録されています。このように埋立途上地は時として思いがけない自然の姿を復元することがあります。泉大津助松ふ頭埋立地もそんな場所でした。ここでは工事の中断の間に広い干潟環境ができ、シギ、チドリをはじめアジ



ハマシギの群飛

サシ類やカモ類など多くの渡り鳥が集まっていました。私たちの調査では1981年からの4年間に120種を越す鳥が記録されています。この中にはコクガンやヒメウズラシギ、ツメナガホオジロなど府下で初めて記録された珍しい鳥も含まれています。また埋立が進められた今でもコアジサシやシロチドリなどが多数繁殖しています。

しかし、こういった野鳥の楽園も埋立工事の進行とともに姿を消す運命にあります。

## § 湾岸の自然と野鳥を守ろう

「野鳥のために埋立てをしているのではないのだから」、埋立地の野鳥の保護を訴える時、いつも聞かされる言葉です。では、私たちはどうやって鳥たちとの共存を考えていけばよいのでしょうか。大阪では南港で、東京湾では大井などで、埋立地によみがえった自然を守ろうという市民運動が続けられてきました。そうして、これらの埋立地の一部が野鳥園として残されることになったのです。「南港野鳥園」には年間20万人以上の来訪者があり、人工干潟にやってくる渡り鳥も年々増加しているようです。南港に次いで泉大津やその他の埋立地でも野鳥への積極的な保護策を講じてほしいものです。大阪湾全体で水鳥の渡来地や海浜の保全、回復を計っていくことはこれからの重要な課題です。

「豊かだった大阪湾の自然を少しでも取りもどしたい。これはバードウォッチャーだけの気持ちではありません。海と陸の交わる海岸線に水鳥の群れ飛ぶ浜辺を再生する事は、失われてきた人と海の調和を取りもどす第一歩になるでしょう。

(財団法人日本野鳥の会大阪支部幹事)

# 天王寺動物園の野鳥

天王寺動物園では1981年から園内にやってくる野鳥の観察を続けています。大阪という大都会のまんなかに位置する天王寺動物園ですが、意外と多くの野鳥を観察することができます。昨年の記録を中心に話をしたいと思います。

下に示した表は昨年1年間の毎日の記録をまとめたものです。1か月を上旬、中旬、下旬の10日ごとに区分し、それぞれ6日以上観察されたものを○、3～5日観察されたものを△、2日以下のものを△で表わしてあります。これで1年間の変化がだいたいわかるでしょう。

昨年度は34種類が観察されました。過去5年間では合計54種類にのぼっています。さて、どんな鳥が観察されたのでしょうか。表に示した順に説明していきます。

サギ類は過去5年間では4種類観察されていますが、去年はゴイサ



ゴイサギ

ギ、ササゴイ、コサギの3種のみが観察されています。ゴイサギはあまり季節に関係なく観察されています。日本庭園やフラミンゴの池で小魚をねらっているのがよく見られます。夕方飛んでいるところや、早朝観察されることが多いようです。ササゴイは昨年初めて記録されましたが、これは9月8日に南園で衰弱しているところを保護されたものです。ササゴイは夏鳥で、淀川などで見られますが、それほど数の多い鳥ではありません。コサギは仲間が飼育されている水禽放養舎の上へ飛んで来ているのが時々観察されます。

カモ類は毎年冬に日本庭園の池で多数観察されます。一番多いのが



カルガモ

カルガモで、ピーク時は60羽近くにもなります。繁殖期に入っている5月、6月にも観察例があります。最近ではカモシカ園やフラミンゴ舎やサイ舎などの小さな池にも降りているのが時々観察されるように

なりました。その他、カモでは、数は少ないですが、マガモやヒドリガモが見られました。ヒドリガモは昨年、初めて観察されたのですが、ほとんど毎日観察され最高5羽が見られました。1983、1984年に観察されたオナガガモは昨年は見られませんでした。また、カルガモとマガモとの雑種と思われるカモ(マルガモ)がときどき見られます。カルガモと行動を共にしているようです。

ハトの仲間では園内に多数見られるドバトは観察記録にはいれていません。キジバトは1年中見られ、営巣も確認されています。

ヤツガシラ、聞きなれない名前的小鸟でしょう。それもそのはず、迷



ヤツガシラ

鳥とってめったに観察されない珍しい鳥なのです。大阪府下でも数回の観察例しかありません。もちろん天王寺動物園でも初めてのことでした。3月13日、キリン舎の前で観察されました。

夏鳥としてどなたでもご存じのツバメはあまり観察されません。動物園の周囲に巣を作る環境が少ないためでしょうか。昨年は6月16日から7月11日の間に数回見られたただけでした。例年4月中旬に観察され始め、8月下旬から10月ぐらいまでは見られます。

セキレイの仲間は3種とも冬に見られます。例年、キセキレイとセグロセキレイは冬の初めに多く見られ、ハクセキレイは冬中みられます。

ヒヨドリはスズメ、ムクドリと共に1年中見られ、園内で繁殖しています。

モズは大阪府の鳥。1年中園内に生息していると思われませんが、意外と観察する機会は少ないようです。ジョウビタキ、シロハラ、ツグミは冬鳥で、都会でもよく見られます。ツグミはたいへん多く、よく見られます。

ウグイスは1年中日本に住んでいる留鳥ですが都会では冬に見られます。3月頃には「ホーホケキョ」というサエズリが聞かれることもあります。年によっては、ウグイスの仲間のメボソムシクイ、エゾムシクイが見られることがあります。メボソムシクイなどは春の渡りの途中立ち寄り、美しいサエズリが

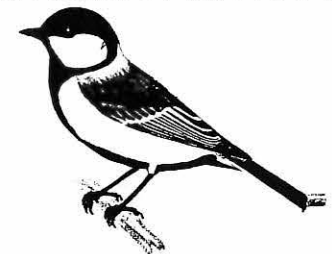


キビタキ

やサメビタキ、エゾビタキ、コサメビタキなどのヒ

タキ類はいずれも山地や中部地方以北で繁殖する夏鳥ですが、春や秋の渡りの途中に、休息のため時おり姿を見ることがあり、かわいい姿を楽しませてくれます。

エナガ、シジュウカラなどのカラ類は大阪周辺の低山地帯でも繁殖している鳥ですが、動物園へは餌



シジュウカラ

みられたり、コゲラが混じっていることもあります。ホオジロ、カシラダカ、アオジなどのホオジロの仲間は冬に時々見られますが、目立たない鳥なので案外たくさんやってきているのかもしれない。

イカルとシメはよく似た鳥ですが共に冬期によく見られます。クチバシの大きいのが特徴的印象的な鳥です。かなり頻りに観察されます。



イカル

カラスのなかまはハシブトガラスとハシボソガラスが一般的ですが、動物園でよく見られるのはハシブトガラスで、ハシボソガラスはめったに見られませ

ん。ハシブトガラスは、最近増加傾向にあるようで、よく見かけるようになってきました。飼われていたものが逃げだしてきたと思われる外国産の鳥も、仲間がいるためか動物園でよくみられます。北アメリカ原産のコウカンチョウが観察されています。その他、セキセイインコ、ワカケホンセイインコ、ダルマインコ、サンジャク、カササギなどが過去に観察されたことがあります。

典型的な都心にある天王寺動物園ですが、こんなにも多くの野鳥を観察できることがお分かりいただけたと思います。でも天王寺動物園が特別、野鳥の多い所ではありません。皆さんの住んでいる場所とかわりはないのです。家の近くの公園やちょっと緑の多い場所に行ってみましょう。きっと、かわいい野鳥に出会うことができるでしょう。いままで気がつかなかった野鳥の世界に感動を覚えることでしょう。

(図版はいずれも日本野鳥の会発行  
フィールドガイド日本の野鳥より)  
(飼育課 獣医師：榊原安昭)

園内野鳥観察記録 1985年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
ゴイサギ					△△△	△△△	△		○△△	○	○	○△○
ササゴイ									△			
コサギ	△△									△		
マルガモ	△△										△△○	△
カルガモ	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	△	△			△△	◎◎◎	◎◎◎	◎△
ヒドリガモ	△	◎◎◎	△◎◎	◎◎△							△	◎◎◎
マルガモ	△△	△									○	△
キジバト	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
ヤツガシラ			△									
ツバメ						△	△					
キセキレイ	△△	△								△○	△△	△
ハクセキレイ	◎△○	◎△○	◎△	△						△○	◎◎△	◎◎△
セグロセキレイ	△						△			△△		△○
ヒヨドリ	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
モズ		△△	△							△△	◎	△
ジョウビタキ											△	△
シロハラ				△								
ツグミ	○△△	○△○	△△△	○△								
ウグイス										△	△	○△
キビタキ										△		
オオルリ										△		
サメビタキ										△		
エゾビタキ										△		
コサメビタキ										△		
エナガ	△											
シジュウカラ						△			△	△	○◎◎	△◎◎
メジロ	△△△	△	△△△						○△△	△△		△△
ホオジロ	△											
カシラダカ												△
アオジ												△
イカル										△	△	
シメ	△	△△	△△	△△							△	△
スズメ	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
ムクドリ	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
ハシブトガラス	△△	△	△△△	△					△	△	△△	△△○
コウカンチョウ		△	△									



☆ ラッコはどうして動物園で飼育しないのですか。

水族館の人気No.1も、なぜか動物園では飼育していませんね。分類学的にみればイタチの仲間なので、水生ではあっても哺乳類であるアシカやアザラシが動物園で数多く飼育されていることを考えれば、当然いても不思議ではないですね。今ラッコを飼育している水族館はすべて海水を使用しています。ラッコの生態を考えれば、海水の方がいいのでしょうか？そんなことから、海岸の近くにあり、水の管理のノウハウをもっている水族館の方が条件はいいと思います。

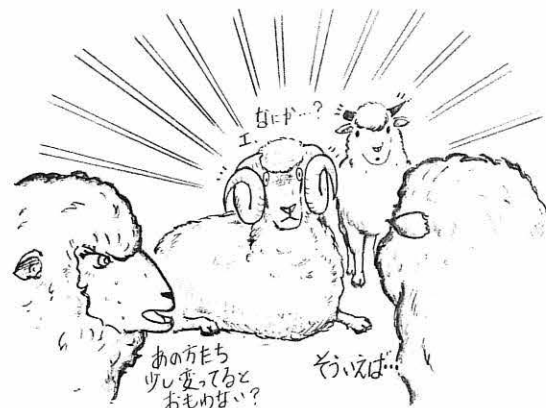
ただ、コアラを飼育する水族館がなくても、ラッコを飼育する動物園があらわれてもおもしろいと思いますが……。

(回答：大野尊信)

(イラスト：山下奉之)



☆ ヒツジは角のあるものと、ないものがあるようですが、オスとメスによる違いですか。



天王寺ZOOのひつじさんの会話

家畜のヒツジはムフロンという野生ヒツジを改良してつくられたといわれています。そのムフロンはオスには大きな角がありますが、メスにはないものと、あってもごく短いものがあります。現在日本で主に飼育されている品種の内、コリデールという品種ではオスにもメスにも角がありませんし、メリノーという品種では個体によって、角のあるものとないものがあらわれます。特に現在、動物園で飼育しているものは雑品種になっているためか、オスの個体によって、時々角のあるものが現われているようです。

(回答：村田行雄)

(イラスト：数野幸司)

§ キリンの来園

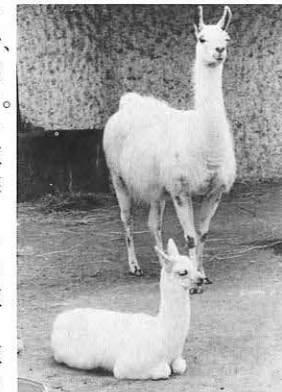


昨年12月にキリンの“リッコ”が死亡して以来寂しくなっていたキリン舎に、3月25日、若いメスが1頭来園しました。来園したメスは、1984年12月18日に東京都多摩動物公園で生まれたものです。たいへんおとなしい性格で、すぐに環境にも慣れ、3月29日に初めて運動場に出しましたが、先住者の2頭とも折り合いはよく、仲良く3頭で餌を食べています。

左はしが新着の“ハルミ”

§ 出産シーズンにたけなわ!!

出産シーズンもたけなわとなり次々と赤ちゃんが生まれています。3月21日にラマのメスが生まれました。母親の“マリー”は5産目で、育児もうまく順調に成育しています。今回の出産で、ラマ一家はオス1頭メス6頭の大家族になりました。



バーバリシープも、3月25日に3頭、26日に2頭生まれており、2月に生まれた1頭と合わせて今年の出産は6頭となりました。

タヌキの赤ちゃんが6頭、4月10日に生まれました。母親は今回が3産目で、たいへん慣れているため、じょうずに子供を育てています。昨年とはオス2頭と同居していたためうまく育ちませんでした。今回は1産目と同様、オス、メス2頭だけにしたため、うまく育ちそうです。



その他、4月7日には今年1頭目のニホンザルが……

現在の飼育動物数

(1986年3月31日現在)

哺乳類	13目	111種	428点
鳥類	18目	177種	585点
爬虫類	3目	32種	63点
計	34目	320種	1,076点

生まれています。また夜行性動物舎では、4月10日にフクロギツネの赤ちゃんが母親の袋の中にあることが確認されました。まもなく、かわいい赤ちゃんが顔を見せてくれることでしょう。

§ 産卵シーズンが始まる

春もたけなわになり、鳥類の産卵も活発になってきました。

キジ類では、3月8日のハイロコクジャクの産卵を皮切りに、コサンケイ、ミカドキジ、チャムネシャクケイ、アカヤマドリ、カムリウズラ、ウチワキジ、ベニジュケイの産卵が次々始まっています。順次、人工ふ化のためふ卵器に入れています。すでにアカヤマドリは有精卵であることが確認されており、4月下旬から5月上旬にはふ化することでしょう。

またワライカワセミも、4月13、14日と続いて産卵し、抱卵をしています。過去の産卵はいずれもふ化に至っていませんが、今年はふ化してほしいものです。

水禽放養舎でも、シュバシコウが11の巣を作っており、3月下旬から産卵が始まっています。その他、アオサギ、カナダガン、オシドリ、アカハシハジロ、アカハシリウキウガモなどの産卵も始まっています。



§ 野鳥保護啓蒙パネルの寄付

野鳥保護をうったえるパネルがサントリー株式会社から寄贈されました。“守ろう自然ノ生きものすべて、草も木もみんな同じ地球の仲間たち”をスローガンに自然保護の大切さがうたえられています。



タンチョウ、オオルリ、カワセミなどの日本の野鳥のイラストが配された美しいものです。夜行性動物舎とレクチャールームの間にある掲示板に設置しました。

● 動物のお話とスライドの会のお知らせ

- 5月18日(日) 野鳥を呼ぼう楽しい庭作り
- 6月15日(日) チンパンジー“リッキー”の1年
- 7月13日(日) 大阪の野生動物
- 時間：午後1時より
- 於：北園レクチャールーム

\* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。7月までの休園日は下記のとおりです。  
5月19日(月)、6月16日(月)、7月21日(月)、  
開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売止めになります。



## ゆとり満喫、信頼のカード。

ショッピングから海外旅行まで、  
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。  
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード **KIPS**  
(キップス)

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。  
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの  
ご利用にはいろいろな特典が。

**近鉄百貨店**

お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階●上本町店10階●東大阪店本館●奈良店4階●西京都店1階  
(京都ファミリー)

ひかりのくに

監修・阪口浩平  
指導・宮武頼夫

●オールカラー

# むし

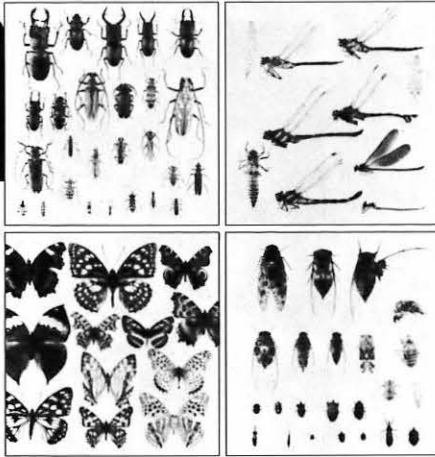
くらしとかいかた

今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きっとすばらしいことに出会えるはずだ。

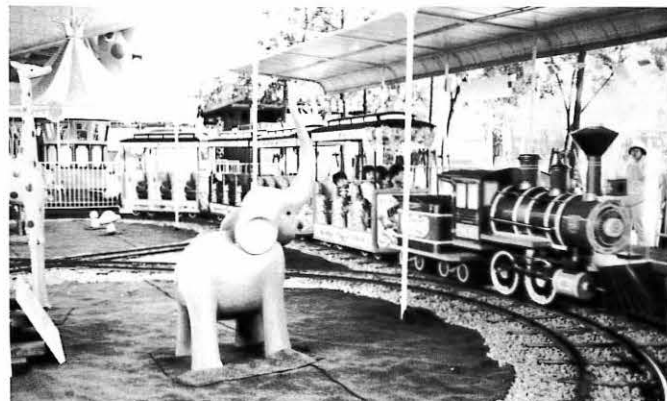


B5変形 84ページ 580円

ひかりのくに株式会社  
〒543-8501 大阪市天王寺区上本町3-2



## たのしいのりもの、が待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

## いま、フィルムは 頭脳をもった。



高画質時代をリードする

はるかに美しく

**フジカラー SUPER HR**



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」  
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。

動物観察の手引に

天王寺動物園  
ガイドブック

のご購読をおすすめします。  
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

動物文学会主宰 平岩米吉著

新刊

# 猫の歴史と奇話

(定価・2600円)  
A5判・260頁  
口絵挿画・113図

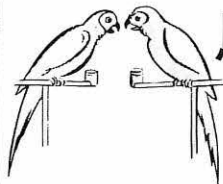
猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本  
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

## 主な目次

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 第一章 猫の歴史<br>欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで | 第二章 猫股伝説<br>老猫化けてさまざまな怪異をなす           |
| 第三章 猫の報恩談<br>蛇を咬んだり、金を運んだりする        | 第四章 野性猫の存在<br>裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡来など |
| 第五章 猫の奇話(上)<br>長命、多産、三毛猫などの形態の奇話    | 第六章 猫の奇話(中)<br>長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動 |
| 第七章 猫の奇話(下)<br>マタビを媚薬とする奇妙な習性など     | 第八章 益獣としての猫<br>あらゆる角度から猫の生態と効用を探究     |

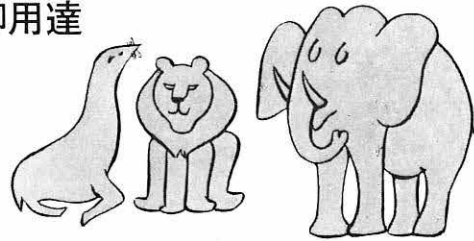
発行 動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659・振替東京5-9800 発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地 振替・東京4-165425



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

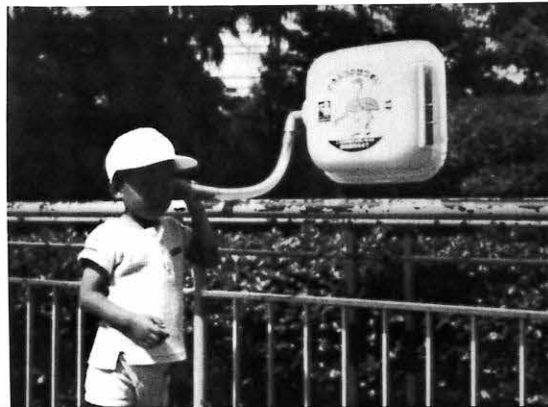
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

## 動物園内での お食事、ご休憩は

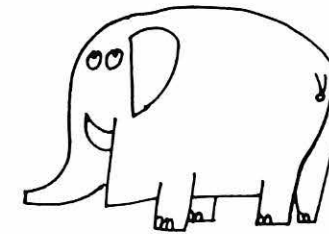
大阪市天王寺動物園内

## 中央売店

☎(06) 771-0973



## 天王寺動物園内



## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は…  
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して  
おりますのでご説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願ひ致し  
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444



新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ



# 雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

ペットを飼っている人にも飼えない人にもこの1冊

## ペット大図鑑

好評発売中

あらゆるペットの飼い方、殖やし方、  
治療法がひと目でわかります。

1部/犬・猫など 2部/リス・アライグマなどの小動物  
3部/金魚・熱帯魚・海辺の生きもの 4部/洋鳥・和鳥・鳩など  
5部/は虫類や昆虫など、めずらしい生きもの 巻末/ペットの便利情報ガイド

総監修/中川道朗 (大阪市天王寺動物園協会専務理事)  
監修/浦東信夫/榊原安昭/内田 至  
石原重厚 編修協力/宮武頼夫

特別価格 **2,950円**  
(定価3,300円) ※送料無料

同封の専用紙または郵便局の振替用紙にて  
お申込みください。振替口座 / 大阪5-98163  
(株)グリーンアド・コミュニティ  
〒550 大阪市西区西本町3-1-46 TEL. (06) 531-0415



サイズ **AB判** (25.7×21cm)  
カラー **160** ページ・全 **400** ページ

なきごえ 昭和61年5月10日発行 (毎月1回10日発行) 第22巻 第5号 (通巻249号)

編集委員 (土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/前田豊彦/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭/森本泰利)  
(大野尊信/山下奉之/農本武志/野口秀高/早川 篤/荻野幸司/堀 弘/大川光雄)

編 集 / 大阪市天王寺動物園  
発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗  
印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)  
〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 大阪 (06) 771-0201  
振替口座 大阪 37823